

ヨシタケシンスケ

神奈川県川崎市生まれのイラストレーター、絵本作家。日常の何気ないひとコマを独特の角度から切り取ったスケッチ集や児童書の挿絵、イラストなど多岐にわたり作品を発表している。筑波大学大学院修了後、1998年、大学の仲間と共同アトリエ「スタジオビッグアート」(2007年「パンタグラフ」に改称)を設立して立体造形を得意とするクリエイティブユニットとして幅広く活動している。2013年、初めての絵本作品「りんごかもしれない」を刊行し、産経児童出版文化賞を受賞。これはりんごをめぐる筋立てのない絵本で、以後「発想絵本」と呼ばれる絵本シリーズを次々に発刊し、2015年、「(池田晶子記念)わたくし、つまり Nobody 賞」を受賞、その後の絵本でも数々の賞を受賞している。